



碧南ロータリークラブ週報

第2696回例会 平成26年7月23日(水)

- 会長 石橋 嘉彦
- 幹事 伊藤 正幸
- 会場監督(SAA) 清澤 聡之

2014-2015 年度 国際ロータリーのテーマ



- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 奥津順司・藤関孝典・吉武敏彦

● 斉 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

● 本日のメニュー

夏の土用のお弁当 小伴天

● 本日のお客様

第 2760 地区 ガバナー 近藤雄亮様

第 2760 地区 地区幹事 高須洋志様



ガバナー公式訪問

会 長 挨 拶

梅雨明けが発表され、いよいよ夏本番です。今年の梅雨は長雨もなく、いつのまにか梅雨入りし、いつのまにか終わった感じでした。

本日は、本年度2760地区ガバナー近藤雄亮氏のガバナー公式訪問です。本年度近藤ガバナーは地区83クラブを訪問されるという事で、その熱意に敬服をいたすところです。その最初の訪問地が碧南クラブという事でもあります。

ようこそお越し下さいました。心より歓迎致します。

さて、碧南クラブは昭和34年に県下16番目のクラブとして発足してから55年が経過し、この地域になくてはならない存在としてクラブもロータリアン個人もその存在感を高めてまいりました。

しかしながら会員数において、20年前は微増で推移し、10～5年前は微減でほぼ横ばいだったのですが、5年前より減少傾向となり、昨年は何とか増強に成功し、少しは戻りましたが、これから注視していかなければなりません。



石橋嘉彦会長

会員数はそのクラブの活動のバロメーターなのかもしれません。ガバナーが申されてみえます様にロータリークラブの不易の部分は大切に、流行の部分ではその時代に促した活動を的確にとらえて実行し、活性化としていかなければ持続が難しくなると思います。

本日の卓話において、近藤ガバナーよりご指導頂ければ幸いです。本日の近藤ガバナーのご来訪を歓迎申し上げ挨拶と致します。

幹 事 報 告

本日は5点ほどご報告させていただきます。

- ・ 例会変更等につきましては幹事報告書の通りでございます。福島県の第2530地区より、風評被害払拭のためのプロジェクト「ふくしまにこらんしょ」のリーフレットが届いております。概要は幹事報告書に記載しておりますので、ご一読をお願い致します。
- ・ 次週の例会は、午後6時より衣浦グランドホテルで開催を致しますので、よろしくお願い致します。
- ・ 次週、臨時理事会を午後5時半より衣浦グランドホテル2階の芙蓉の間にて開催致しますので、理事、役員の皆様はよろしくお願い致します。
- ・ 第2回理事会を8月6日例会終了後に開催致しますので、理事、役員の皆様、重ねてよろしくお願い致します。
- ・ 本日、小伴天様よりお中元を頂いております。ありがとうございました。



伊藤正幸幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 68 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 14 名)出席者 61 名	
出席対象者 61/65 名	出席率 93.85%
欠席者 7 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

第2760地区ガバナー 近藤雄亮様、地区幹事 高須洋志様より、たくさん頂きました。

石橋 嘉彦君 } 近藤ガバナー、高須地区幹事のご来訪を歓迎いたします。
伊藤 正幸君 }

伊藤 正幸君 第1回ゴルフ例会、優勝させていただきました。いきなりクラブ幹事で優勝させていただき、心苦しいです。

加藤 良邦君 第2760地区 近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事、お2人の来碧を

心より歓迎致します。

長田 豊治君

藤井達吉翁の追弔会「鶏頭忌」を8月24日（日）に妙福寺さんで開催いたします。皆様も是非ご参加下さい。

渡部 哲也君

碧南火力4号機、運転再開しました。ご心配おかけしました。安定供給のためにがんばります。

卓 話

第2760地区 ガバナー 近藤雄亮様



第2760地区 ガバナー
近藤雄亮様

先ほど会長さんがおっしゃられました通り、私がやりたい事が3つありまして、そのうちの 하나가全クラブを公式訪問する事です。縁ありまして、碧南 RC を最初に訪問致しました。一生懸命話させていただきます。

例会前に、会長、副会長、幹事、副幹事と会合させていただきましたが、米山奨学生やクラブ増強等、既にやられているのばかりなので、私の方からは何も言う事はありませんでした。引き続きお願いします、とお伝え致しました。一年間、皆様方にはご苦勞をおかけするかとは思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

まず、RI への会長賞とガバナー賞へぜひ挑戦して頂きたいと思います。結果はどうあれ、挑戦する気持ちが大切でありますので、ぜひよろしくお願い致します。

ガバナー賞ですが、クラブ単位でのロータリーデーの実施、という事ですが、これは11月9日に予定しておりますので、これが実施されれば問題ないと思います。

会員数純増3%の達成クラブについてですが、増強目標を見せて頂きましたら4.7%ぐらいでしたので、達成して頂きたいと思います。

米山奨学会への寄付額が一人当たり2万円以上、という内容に関しましては、実は12クラブほど昨年度ありましたので、それほど高いハードルでもないのかなと思い、設定致しました。

ぜひこれらの条件に挑戦して頂きたいと思います。

RI や地区でもかなり力を入れている、ポリオ撲滅についてです。感心をもって頂きたいと思います。

青少年育成について理解をして頂き、ぜひ皆様のお力を貸して頂きたいと思います。ちょうど米山奨学生のホストをやって頂けるというお話を聞き、ありがたく思いました。

11月に予定しております、WFF (World Food Fure-i Festa) ですが、昨年大盛況に終わりました。サンディエゴに行った際に RI のガバナーエレクトの話聞いておられますと、国単位、地区単位、クラブ単位でやって下さいと言われてました。2760地区では既にそのような事をやっているの、ロータリーデーにしようという事になりました。実行委員会を作りまして、現在進めております。ご理解頂き、ご協力をお願いしたいと思います。

また、組織の一体化、連携プレーによるクラブの強化を図って頂きたいと思います。

今年度のテーマは「ロータリーに輝きを」でございます。ロータリーに光をあて、ロータリーをより引き立たせ、よりよいものを引き出すという事であります。ロータリーで集まって、語って、楽しもうという事です。ロータリアン一人一人が目標に向かって進めていき、その間にいい人との出会い、いいものとの出会いがあり、感動する場面がたくさんあると思います。そして目標を達成した際には、達成感が喜びとなって出るのではないかという事でございます。

一人一人が輝く事により、地区も輝き、RIも輝くという事でございます。ゲーリー・ホアン会長は強調事項としまして、地域社会でのロータリーの存在感を高める事、会員増強、ポリオ撲滅、クラブの強化、ロータリーデーの実施の5項目を挙げられました。とにかくロータリーを楽しんで、ロータリアンでない人達にも見てもらい、公共イメージアップに繋げましょうという話でありました。

これらを受けまして、地区で「集まろう・語ろう・楽しもう」という風にしたわけであり、先ほど会長さんから聞きましたが、碧南 RC の出席率は平均93%前後という事で、全国でも1、2位を争うクラブです。誇れるクラブであります。例会というものは、私たちにとって非常に大切なものだと思っております。集まり、色んな人の話を聞いたり、雑談したり、奉仕活動について話し合っ、というのがスタートだと思っております。例会で集まる事がとても大事な事だと私は考えております。

毎年1月にあります国際協議会、6月に行われました国際大会、私は朝から夕方まで全て出ました。32年やっており全て出席したのは初めてです。ガバナーになるためには1月の国際協議会には出なければならないのですが、約1週間缶詰になって勉強致します。国際大会はそうでもないのですが、自分にとって非常に役に立ちました。毎回、心に残るロータリー体験を話すのですが、非常に話し方がうまいです。外国の方は小さい頃からディベートは訓練されておりますので、人前で話す事が非常に慣れております。日本人よりもはるかにうまいです。心を惹き付けて感動させるのが非常に長けております。結果、ロータリーでやっている事がずっと入ってきます。この感動こそがロータリーに集まってくる要素だと思っております。

最初の7月にロータリーの意識向上月間とし、来年の5月は心に残る体験を語る月間に致しました。碧南 RC には大ベテランの方もいらっしゃいますし、非常に若い方もおられます。この若い方が5月に心に残った体験談を話すのもいいのではないかと考えております。

行動指針としましては、行事への積極的参加です。色々な行事へ参加する事により、たくさんの事が分かってきます。それ以上に、多くの人と知り合える事が大きいと思います。交友関係、視野を広げるといった意味で色々な行事へ参加して頂きたいと思っております。

多様性の再認識ですが、ロータリーには、男性、女性、宗教など色々な人の集まりです。色々な話を聞けるし、価値観も広がります。

それから、奉仕の理想と実践です。あえて「理想」を入れましたが、最近のロータリーでは「理想」ではなく、「実践」なのです。4つのテストでもそうですが、意味が分からなくなったら原文を読んで下さい。原文は変わらないので、どう自分が受け取るかです。これも大事な事ではないかと思っております。

会員増強ですが、碧南 RC さんには言うまでもないのですが、組織の維持や活動を活発化しようと思いますとそれなりの人数は必要であります。RI では25名分の活動費を納めなければなかったのですが、この前の規定審議会で人数分を納めればよいようになりました。考え方は緩い方になっておりますが、それなりの事をしようと思ったら人数も必要です。全てのクラブを回る予定ですが、人数の少ないクラブはどのような活動をしているのか、自分で確かめ、彼らのバイタリティーを自分の感動の一つとして持ちたいと思います。

RI 戦略計画の中やホァン会長の強調事項の中にも、クラブの強化があります。また、新世代の育成にも大変力を入れております。地区、クラブには色んな組織があります。これらが縦割りの組織になっており、横の繋がりが薄いと思います。私は地区の人間として、縦割りの組織に横串を入れてみんな協力してやろうと言っております。社会奉仕、新世代などは財団と大きく関わっております。地区の財団からいかにお金を引き出すかが非常に重要になります。縦横の繋がりを深めようという事です。

WFF がその典型でございます。地区の委員長さん全員が実行委員になって頂いております。みんなで協力し合って2760地区の色を出そうとしております。また、ロータリーファミリーにも積極的に参加して頂き、一丸になってやろうと言ってあります。地区全員で一丸になって、チームプレーを目的としております。自分のクラブに戻っても横の繋がりをしっかり持てば、非常に強い組織になるのではないかと思います。

全てのクラブを周るという事で、半田 RC さんに従来の11月から2月に変更して頂きました。他クラブの特徴を地区大会で報告出来たらと考えておりますので、変更して頂きました。

先ほども申し上げましたが、ガバナーになるためにサンディエゴで1週間ほど、国際協議会で勉強してきたというお話をしましたが、国際協議会、国際大会のお話を少ししたいと思います。

国際協議会の方ですが、蚊からくるマラリアが流行っておりまして、大変な目に遭っているという事です。そういう人達に対してロータリーは何が出来るのか、という話がありました。蚊帳をたくさん購入してそこへ送ってはどうか、という話が出ました。しかし、そうではなく、そこで蚊帳を作る技術を教えよう、という事になりました。これが基本的なロータリーの考え方だと思います。それが職業になれば、そこに定住する人が出てくるのではないかと思います。近隣でそれで困った国があれば、輸出ができ、産業が生まれるのではないかと思います。一般的に考えると、物やお金を与えればよいと思いがちですが、そうではございません。一番の原因を探り、そこに力を入れていく事が重要ではないか、という話がありました。私も目から鱗でした。

国際大会の最終日ですが、青少年のための時間をとりました。私も新世代に大変興味を持っておりまして、真剣に聞いてきました。新世代が何を考えているかとロータリアンに聞かせよう、という事でした。一人はインドのローターアクターです。この人が、自分たちで教育というプログラムを作り、7日間で20万冊の本を集めたそうです。そして、それらを108の学校に図書館を作り、寄贈したそうです。もちろんその人だけではなく、バックアップも当然あったでしょうが、その原動力となったのはローターアクターです。実践して、作

ったという事です。また、2850人の女性の髪を切ってカツラを作り、そのカツラを癌などで髪を失ってしまった女性達に提供し、非常に喜ばれたそうです。彼はロータリーのおかげでロータリーモーメントを作る事ができ、非常に感謝しております、という話がありました。

それからインターアクトですが、ビデオコンテストというのがありまして、そこで優勝したところが発表してありました。その内容は、学校で畑を作り、種を蒔き野菜を作ります。そして収穫し、それを売り、その費用を奉仕に使ったという事であります。物を作る喜び、みんなで一生懸命になってやる喜び、収穫した野菜を食べてもらった人達の笑顔を見る喜び、売ったお金を寄付し奉仕に使ってもらい喜んでもらえるという喜び、これらを味わったという事であります。若い人でもチャンスを与えればそういった事をやる、という事であります。

また、ケーシーコックさんという方のお話がありました。彼女は元ロータリー青少年交換学生、元ロータリー国際親善奨学生でありました。カナダの方でして、小さい頃、何不自由なく育ったそうです。高校生になった時にニューヨークの国際本部に行く機会があったそうです。そこにアイルランドの内戦で殺された少年の写真が飾ってあったそうです。それを見て相当なショックを受け、親との生活から出て、高校を卒業した時に青少年交換学生としてトルコに行きました。そこでグローバルコミュニティーをしたそうです。

彼女は、識字率を強くするためにはコンピューターを強くしなければならないと考えています。フィジーでタブレットを寄付し、学校内外でタブレットの使い方を教えているそうです。タブレットを使っていると電池が切れてきます。充電が必要になります。エネルギーは太陽光で作れますが、充電器はそうはいきません。そこで、充電器を考えながら自分たちで作ったそうです。言葉を教えるのと同時に、コンピューターの使い方を教える、という事であります。コンピューターの使い方を教える上で文字が必要なので、文字を教え、識字率向上を図っていく、という事であります。その地域が本当に何を求めているか、がすごく大事だと言っていました。

7月21日に、地区のインターアクトクラブの年次総会がありました。そこに講師の林ようこさんをお呼びして話をさせて頂きました。彼女は海外で活躍したいという事で、南山大学のフランス語科へ入りまして、途上国の現場で活躍している方であります。彼女は、ラオスにおります。ベトナム戦争時、ラオスにも補給路を断つという意味で相当な爆弾を落とされたそうです。その不発弾がたくさんあり、今のペースだと取り除くのに100年ぐらいかかるそうです。畑仕事をしていると不発弾で手足がなくなってしまう方が大勢いるそうです。そこで車いすを送ったそうです。壊れた車いすが山積みされていたそうです。車いすを直せる技術がないのに、車いすを送っても意味ないのです。車いすを作る技術を与えた方がいいのではないですか、と彼女は言うておりました。

我々は奉仕をしていると思っていても、向こうにとっては大きなお世話だ、となっている部分もあるのではないのでしょうか。そういう意味で地域密着して、何を望んでいるかを発掘して、我々の奉仕活動をやらないといけないと思います。

ぜひ皆様方も心に残るロータリー体験をされて、色んな方にお話頂ければと思います。

本日はどうもありがとうございました。

次回例会案内

平成26年8月6日（水）

クラブフォーラム 各委員長方針説明